

design

LESSON.4

写真選びの基本

*#selfmedia*

# 写真がもたらす効果について

---

サイトや SNS を運営するにあたりやはりかせないのが写真です。更には「お問い合わせ」や「購買」に結び付けたいものです。訪問者を「この商品が欲しい」「詳しく話を聞いてみたい」という気持ちにさせ、アクションを起こしてもらうために、写真は非常に重要となってきます。文字での説明をたくさん並べるよりも、一枚の写真の方が伝わるというケースも多いですし、一枚の写真がネットショップの売り上げを左右するという事も現実にあります。では、そんな写真を選ぶ際のコツを紹介していきます。

---



PHOTO

# 訴求力の高い写真の選び方～5大原則～

---

写真の選び方には、さまざまな考え方がありますが、ここでは代表的な5つをピックアップしました。

① **清潔感** 爽やかな自然や美しい景観の写真は、サイトの滞在時間を長くします。





② 高揚感 「楽しさ」や「喜び」を喚起する画像は、共感が得られやすくなります。



③ 躍動感 スポーツや乗り物等、スピード感や力強さの表現には欠かせない要素です。



④ 幸福感 家族写真などを通して、じわっと伝わってくる幸せを表現します。



⑤ 五感への刺激 「美味しそう!」「食べたい!」という五感への刺激は、飲食店・フード系ネットショップでは不可欠です。





## ★ 3Bの法則

---

一般的に Beauty（美人）、Baby（赤ちゃん）、Beast（動物）の3種類は、訴求力が高いといわれています。各単語の頭文字をとって「3Bの法則」と呼ばれます。



# 人物は目線にも注意

---

人物写真は、目線が正面に向いている方が訴求力が高くなりますが、自然な雰囲気を使いたい場合には、あえて目線がはずれているものを使用します。



目線がはずれている写真



目線が正面に向いている写真

# 写真は費用対効果の高い投資

---

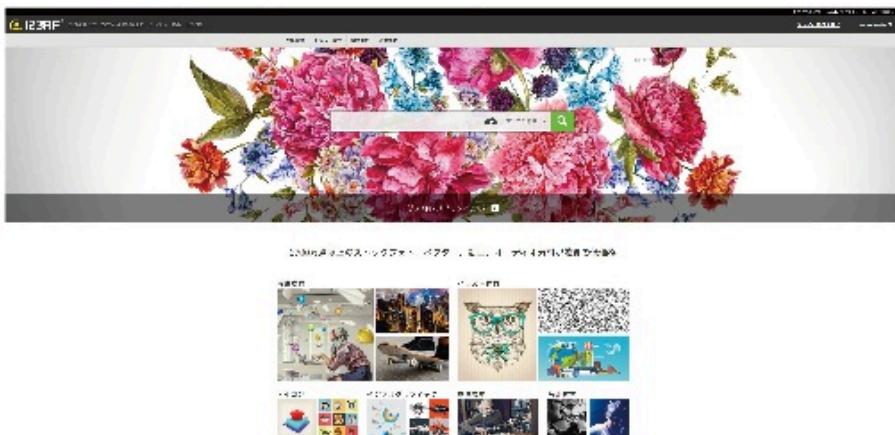
現在無料の写真フリー素材を使っている方がほとんどだと思いますが、それだとやはりクオリティに欠けます。そこでクオリティの高い写真を使用する為には主に2つの方法があります。一つは有料の写真素材を使用する。二つ目はプロの方に撮影を依頼する。です。自分で撮る方法もありますが、やはりプロにはかないません。いずれにしても、写真に関してはある程度予算を取って、品質の良いものを使用することをおすすめします。良い写真を使用すれば無料の素材を使用するより圧倒的に反応率も変わってきますので、長い目で見たら費用対効果の高い投資でもあります。



# おすすめの有料素材サイト

## shutterstock (シャッターストック)

約 6,000 万点以上の写真素材、イラスト素材、動画素材、音楽素材がロイヤリティフリーで利用できます。プロフェッショナルなクオリティでイメージにピッタリな素材が勢ぞろい。高級プロ志向なストックフォトサービスです。他の写真素材サイトよりやや割高感があります。



## 123RF

約 5,800 万点以上の写真素材、イラスト、動画、音楽素材がロイヤリティフリーで利用できます。海外素材が中心ですが、運営は日本法人で日本語対応しているため安心して利用できます。また、コストパフォーマンスが高く一番おすすめしたい高品質ストックフォトです。

# ライセンスについて

---

写真素材サイト（ストックフォト）により、ライツマネージド（RM）とロイヤリティーフリー（RF）の異なるライセンスが提供されている場合があります。素材の使用には、それぞれのライセンスをしっかりと確認しましょう。

## ライツマネージド（RM）とは？

ライツマネージド（RM）とは、素材ごとに使用媒体・期間・地域・印刷部数等に応じて使用料金を計算し、使用許諾を発行するタイプのライセンスのことです。素材を使用する度にお金を払う必要があります。必ず使用用途を申請する必要があるため、写真素材の使用履歴が厳格管理されます。

## ロイヤリティーフリー（RF）とは？

ロイヤリティーフリー（RF）とは、その素材を一度購入すると使用許諾の範囲内で何度でも複数用途に使用できるライセンスのことです。購入には、1枚から単品購入できるものや、クレジット購入、定額制など、ストックフォトサイトによって色々な購入プランがあります。基本的には購入者のみが使用でき、第3者への使用権の譲渡はできません。

## まとめ

---

写真によってそれを見た人に与える効果は様々です。例えば実際に手に取って物に触れることができないのが、Webで物を売る難しさです。そこで、いかに見る人にその物の情報を与えるか、いかにそれを使っている場面をイメージさせるかが重要になってくるので、写真はちゃんとした訴求力のある写真を選びたいところです。写真1枚で売り上げが全く違うことなんかもざらにあるのも現実です。なので写真はできるだけ無料ではなく。有料のものを選びましょう。



PHOTO